

消費生活コラム

クリーニングのトラブル
受け渡し時に服の状態を
確認していますか？

【相談事例】

ジャンパーを7か月前にクリーニングに出した。すぐに引き取ったが、でき上がりの状態を確認せずにクローゼットにしまい、先月着ようとしたら、ジッパーの布地が引きつって着られる状態ではなかった。クリーニング店に伝えると「6か月も過ぎてから苦情を言われても、引き取った後の事故によるものかクリーニング時の処理の仕方の問題かどちらか分からない」と言われた。(70歳代)

うぐちゃんからの
アドバイス

クリーニングに出す時、受け取る時には、必ず衣類の状態や処理方法を店舗側と一緒によく確認しましょう。

「クリーニング事故賠償基準」を使用してトラブルの対処をする店舗もありますが、使用していない店舗もあります。利用する店舗のルールを確認しましょう。また、賠償される場合でも、購入時からの経過月数などが勘案されるので、購入時の金額が戻ってくるわけではありません。

不安な時、困った時は消費生活センターへ相談してください。

市消費生活センター専用ダイヤル
☎(44)4883(市役所2階)

■相談日時 月～金曜日 午前9時～午後5時(正午～午後1時を除く)

※来所での相談の場合は、事前に電話でご予約ください。

※土日・祝日の電話相談は消費者ホットライン☎188(局番なし)へ。

Shimotsuke
—男女共同参画宣言都市— しもつけ

男女共同参画の視点からの防災

なぜ防災に男女共同参画の視点が必要なのでしょう？災害時には、性別・年齢・国籍など様々な立場の人と一緒に避難所生活を送ることになります。

東日本大震災では、避難所運営の意思決定の場に女性の参画が足りず、ニーズを見落としてしまうことがありました。特に女性用品は、女性がニーズを把握し、配布するなどの配慮が必要です。また、安全面やプライバシー確保の観点からも、運営には様々な立場の人が参画していることが望ましいでしょう。

災害時には、平常時の問題が顕在化するため、多様な視点を取り入れていくことが大切です。平常時から、自治会やご近所との交流、ローリングストックや備蓄品の管理など、できることから始めてみましょう。

まちがいさがし

わかるかな？

▼ 栃木プロレス『東の飛鳥決戦』

2枚の写真には違っているところが3つあります。みつけてみてください(印刷の汚れは除く)。

※答えは46ページ下段。



スマートフォンやタブレット端末から「広報しもつけ」を読むことができます

○カタログポケット

URL https://www.catalogpoke.com/?mict_code=1

iOS



Android



○トチギーブックス

URL <https://www.tochigi-ebooks.jp>



○マイ広報紙

URL <https://mykoho.jp/>



○マチイロ

URL [https://machihiro.to](https://machihiro.town)
wn

